

ブラジル 日本人移住百十周年記念に参加して

去る2018年文月（7月）

ブラジル日本人移住110周年祭式典への御招待状をブラジル国パラナ州マリンガ市、祭典委員長の西森ルイス弘志国会議員より賜り去る七月、日本和太鼓集団、鬼太鼓座の皆様と当地に参りました。ブラジルは真冬でしたが軽井沢の様な心地よい日々を過ごして参りました。

真子妃殿下ご臨席式典始めマリンガ・クリテイバ・リオと三か所での力の限り打ち皆様的心も打った和太鼓に加えて津軽三味線、鬼太鼓座音頭取り松田惺山の尺八、それは素晴らしい演奏会でした。

頂いた各地領事館からお世話いただいた皆様の感想を載せました。

真子妃殿下には「和太鼓のお舞台は機会が無く存じませんでした。感動致しました。」とのご感想を頂きました。

真子妃殿下は実に素晴らしく世界に誇る事の出来る日本皇室の妃殿下です。

お幸せにと心からお祈り申し上げます。

サンパウロは無論の事、マリンガ・クリテイバ・リオの都市も確実にブラジルは豊かに成長して居り街も美しく道も立派になりました。

魅力致したのは豊かな街路樹です。

昔の面影を存分に残してブラボーです。

その上西森先生よりお招きいただいた農場です。

その広さ豊かさ人々の暖かさ言葉が見当たりません。

帰国して荷を崩し始めに出た言葉は「ブラジルに戻りたい！」でした。

（日本も心和む祖国ではありませんが）